

第60回

鎌倉新能



能「石橋 群勢」シテ 本田光洋 撮影:辻井清一郎

平成30年
10月5日[金]・6日[土]・7日[日]
開場:午後5時 開演:午後6時 [雨天中止]
会場:鎌倉宮境内(鎌倉市二階堂154)

5日[金]			演目		
金春流	神楽式	シテ	金春	憲和	
和泉流	狂言	鈴ノ段	野村	裕基	
	蝸牛		野村	万作	
宝生流	能		宝生	和英	
	乱				
6日[土]			演目		
金春流	神楽式	シテ	金春	憲和	
和泉流	狂言	鈴ノ段	野村	太一郎	
	蝸牛		野村	萬斎	
金春流	半能	石橋 群勢	金春	安明	
7日[日]			演目		
金春流	神楽式	シテ	金春	憲和	
和泉流	狂言	鈴ノ段	中村	修一	
	蝸牛		石田	幸雄	
金春流	半能	石橋 群勢	金春	安明	

- 料金:S席12,000円 A席9,000円 B席7,000円 各税込※解説入りパンフレット付
■発売:平成30年8月15日(水)9:00より
■予約・申し込み TEL0570-08-9955 ※8/15(水) 9:00~18:00
TEL0570-08-9999 ※8/16(木)以降 10:00~18:00
薪能特別サイト http://www.cnplayguide.com/kamakura_info/ (24時間受付)
(CNプレイガイド)
■主催:(公社)鎌倉市観光協会 ■共催:鎌倉市
■後援:神奈川県、鎌倉市教育委員会、鎌倉宮、(株)ジェイコム湘南、
鎌倉エフエム放送(株)、神奈川新聞社
■お問合せ先:(公社)鎌倉市観光協会 TEL 0467-23-3050(8:30~17:15)
<http://www.kamakura-info.jp/>

●ご注意 ※悪天候により中止の場合でも旅費等の補償はできません。 ※会場内で撮影・録音はできません。
※小学生以下の入場はできません。 ※ペット連れでの入場はできません。
※雨天等で開演前に中止となった場合は料金を払い戻します。



伝 聖徳太子御作 白式尉(翁面) 金春宗家所蔵

第60回 鎌倉薪能

一九五九年(第二回目)より受け継がれてきました鎌倉薪能は今年で六十回目を迎えます。この歴史は発祥と言われる奈良、京都に次ぐものがあります。

鎌倉宮の杜に囲まれた特設舞台は独特な雰囲気醸し出し、能楽界を代表する超一流の方々のご出演による神事能として高い評価を得ています。

野外能ならではの魅力あふれる鎌倉薪能。舞台と観客の皆さまが一体感を感じられる凛とした空気の中、六十回目を飾る特別な演出をお届けいたします。

【狂言 蝸牛】

かぎゅう

修行を終えた羽黒山の山伏が、帰国の途中に疲れて大きな藪の中で寝入ってしまいました。

主人が自分の祖父の長寿の薬として蝸牛(カタツムリ)を取ってくるように太郎冠者に命じます。ところが太郎冠者は蝸牛がどのようなものか知りません。蝸牛とは藪にいて、頭が黒く腰には貝をつけ、時々角を出し、年をとったものは人の大きさほどもある、と主人に教わります。太郎冠者が蝸牛を探して藪の中に分け入ると……。

心を浮き立たせる囃し言葉が印象的な狂言です。

【能 乱】

みだれ

唐国(中国)楊子の里に住む高風が、夢の告げに従って市で酒を売り富貴の身となりました。さらに不思議なことに誰とも知らない者が高風のもとにやって来ては酒を飲みますが、その者の顔色はまったく変わらず、自分は海中に住む狸々であると正体を明かしました。そこで高風が夜に潯陽の江で、名酒を壺に満たして待つっていると、狸々が姿を現します。狸々は舞を舞うと、汲めども尽きることのない酒壺を高風に与えて繁栄を約束します。

狸々は海中に住む伝説上の動物。お酒が好きで、全身が赤色をしているとされます。見どころは狸々の舞「乱」。特殊な足遣いで波の上を戯れるように舞い、酒を汲むなどの様子を見せます。笑みを浮かべた面も特徴的です。めでたい内容の能、祝言能です。

【半能 石橋 群勢】

しやうきよう

出家した大江定基が寂昭法師と名をあらため、唐国の石橋を訪れます。石橋の向かいには文殊菩薩の世界、清涼山です。石橋を渡ろうとする寂昭の前に、獅子が姿を現します。獅子は橋のたもとに戯れつつ威勢を見せて舞います。

〈石橋〉も祝言能の一つ。獅子は文殊の使わしめの霊獣とされます。本日は小書(特別演出)「群勢」での上演です。通常は赤二頭の獅子ですが、今回は白と赤の複数の獅子が登場します。重厚で神秘的な雰囲気、白の獅子と豪壮な赤の獅子の対比や、上半身を屈伸させたり、頭を振ったりする獅子の舞が見どころです。深山幽谷の雰囲気や獅子の威勢を表現する華麗な囃子の音色も聞きどころ。牡丹の花も舞台を彩ります。

What is Noh(能)?

Noh is a performing art with long history. Its origin may be various preceding dances, music, and other performances. Around Japan's Muromachi period, during the 14th to the 16th centuries, Noh had established its present style. Reflecting its origins, a Noh play consists of dances, chorus, and musical instrument's play. It resembles western musicals, but it could differ in that Noh plays respect established patterns and ways of performance. Everything is precisely defined, including the way to move and sing, and performers are required to show their originality within the rigidly defined framework.

Tonight's program has three parts. The first play, Kagurashiki(神楽式), represents an early version of Noh. It is a sacred ritual praying for peaceful and prosperous world. The second part is Kyogen(狂言), which is a comical performance criticizing and admiring various human natures. The fourth part is a Noh play.

What is Takigi-Noh(薪能)?

Literally, it means Noh-performances with firewood. Firewood is used to light the Noh stage outdoors in the evening. Originally, Takigi-Noh was performed at the Kohfukuji temple and the Kasugataisha shrine in Nara around the 13th century or earlier as an event dedicated to the god. Today, Takigi-Noh may indicate just outdoor Noh performances with bonfires as an evening event.

About Kamakura Takigi-Noh(鎌倉薪能)

The Kamakuraguu shrine has hosted a Takigi-Noh event for a long time known as the Kamakura Takigi-Noh. It will be the 60th occasion this year, making the Kamakura Takigi-Noh the third oldest one in Japan. Following the original Takigi-Noh style at the Kohfukuji temple and the Kasugataisha shrine, the whole event is dedicated to the god. Therefore, the event starts with the drum beating, followed by a purification ceremony, prayer for peace and a success of the event, and the offering of a sprig of the sacred *sakaki* tree to the god. After the distinctive sound of trumpet shell, the bonfire is set. The start of Noh performance is declared, and the first performance begins. After the Kyogen play, sacred *sake* is provided to the Noh players prior to their performances. We hope you enjoy a series of special and sacred ceremonies, as well as the Noh performance itself.

【催しに関する注意事項です。必ずお読みください。】

●座席はすべて指定ですが、位置の希望はお受けできません。●入場券の販売は売り切れをもって締め切りとさせていただきます。●入場券購入後の変更は一切できません。●中止の場合の旅費等の補償はできません。●開演後の入場については制限させていただく場合があります。●小学生以下の入場はできません。●ペット連れでの入場はできません。●会場内での撮影、録音はできません。●駐車場の用意はありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせは (公社)鎌倉市観光協会 TEL 0467-23-3050(8:30~17:15) 観光協会ホームページ <http://www.kamakura-info.jp/>

【鎌倉宮境内会場】JR鎌倉駅東口より、バス4番乗場「大塔宮」行き 終点「大塔宮」下車